（様式１）

**北海道大学理学研究院博士後期課程奨学金奨学生**

**申 請 書**

**1．申請者情報**

（1）基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 所属大学院･専攻等 | 　　　　　　　　　学院　　　　　　　　　　　専攻（コ－ス） |
| 受験番号（在学者は学生番号） |  |
|  |  |
| 博士後期課程での予定主任指導教員※ |  |

　　　※ 主任指導教員は，理学研究院に所属する教員に限る。

（2）略歴

|  |  |
| --- | --- |
| 入学年月 | 　令和　　　　　年　　　　　月　　入学（予定） |
| 出身大学 | 大学　　　　　　　　　　科／院  |
| 専攻　修了（予定） |

（3）連絡先（携帯番号・メールアドレスなど）

　　　※確実に連絡の取れる連絡先を記入すること。

|  |
| --- |
| 携帯電話(必須) |
| メールアドレス１(必須) |
| メールアドレス２ |

（4）研究課題（40字以内）

|  |
| --- |
|  |

（5）申請要件の確認

　　　以下の申請要件について，満たしているものに ☑ を付けること。

　①　　　[ ]  外国人留学生ではありません。

　②　　　[ ]  主任指導教員は，理学研究院に所属する教員です。

　③　　　[ ]  入学学期の授業料減免申請に申請済です。※

※ 特別な事由により要件を満たさない場合は，理由書（様式２）を提出することで申請できる。

　④　　　[ ]  日本学術振興会特別研究員制度に申請済です。※

※ 特別な事由により要件を満たさない場合は，理由書（様式２）を提出することで申請できる。

　⑤　　　[ ]  会社等から給与を支給されている社会人(有職者)ではありません（本学ドクトラル・リサーチャーを含む）。

　⑥　　　[ ]  独立行政法人日本学術振興会の特別研究員，ではありません。

　⑦　　　[ ]  北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ事業に採用されていません。。

　⑧　　　[ ]  北海道大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事業に採用されていません。

　⑨　　　[ ]  給付開始学期に休学中ではありません。

　⑩　　　[ ]  フェローシップ等で⑥～⑧と同等の助成を受けているものはありません。

　⑪　　　[ ]  「様式３ 推薦書」について，予定主任指導教員へ作成を依頼済です。

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**２．現在までの研究状況**

（図表を含めてもよいので，わかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）

① これまでの研究の背景，問題点，解決方策，研究目的，研究方法，特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について，問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

なお，これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には，申請者が担当した部分を明らかにして，それらの内容を記述してください。

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

|  |
| --- |
|  |

（現在までの研究状況のつづき）

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**３．これからの研究計画**

（1）研究の背景

これからの研究計画の背景，問題点，解決すべき点，着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

（2）研究目的・内容

（図表を含めてもよいので，わかりやすく記述してください。）

① 研究目的，研究方法，研究内容について記述してください。

② どのような計画で，何を，どこまで明らかにしようとするのか，具体的に記入してください。

③ 所属研究室の研究との関連において，申請者が担当する部分を明らかにしてください。

④ 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することを予定している場合は

その旨を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（3）研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

① これまでの先行研究等があれば，それらと比較して，本研究の特色，着眼点，独創的な点

② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ，意義

③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（4）研究計画

申請時点から採用までの準備状況を踏まえ，研究計画について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（5）人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には，研究計画を遂行するにあたって，相手方の同意・協力を必要とする研究，個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究，生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に，どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば，個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査，国内外の文化遺産の調査等，提供を受けた試料の使用，侵襲性を伴う研究，ヒト遺伝子解析研究，遺伝子組換え実験，動物実験など，研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記述してください。

なお，該当しない場合には，その旨記述してください。

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**４．研究遂行能力**

研究を遂行する能力について，これまでの研究活動をふまえて述べてください。これまでの研究活動については，網羅的に記載するのではなく，研究課題の実行可能性を説明する上で，その根拠となる文献等の主要なものを適宜引用して述べてください。本項目の作成に当たっては，当該文献等を同定するに十分な情報を記載してください。

具体的には，以下(1)～(6)に留意してください。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文，著書（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合，採録決定済のものに限ります。）

著者，題名，掲載誌名，発行所，巻号，

pp 開始頁－最終頁，発行年を記載してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説，総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別，査読の有無を明らかにしてください。）

著者，題名，発表した学会名，論文等の番号，場所，月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし，発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載してください。

(5) 特許等（申請中，公開中，取得を明らかにしてください。ただし，申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記載してください。)

(6) その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**５．研究者を志望する動機，目指す研究者像，アピールポイント等**

研究者を志望する動機，目指す研究者像，アピールポイント等を記入してください。

|  |
| --- |
|  |

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿